

平成29年度 佐賀県原子力防災訓練実施概要

1. 目 的

原子力災害の特殊性に鑑み、国と連携して、佐賀県・玄海町・唐津市・伊万里市の地域防災計画（原子力災害対策編）及び「玄海地域の緊急時対応」等に基づき、防災業務関係者の防災対策に対する習熟及び防災関係機関相互の連携協力体制の強化並びに地域住民の原子力防災意識の向上を図る。

なお、今年度は国の原子力総合防災訓練が玄海地域で実施されることから、国との合同訓練として実施する。

2. 日 時

平成29年9月3日（日）8：30～17：00

9月4日（月）8：00～17：00

オフサイトセンター運営訓練及び本部運営訓練も同時実施

3. 場 所

玄海町、唐津市、伊万里市等の訓練実施市町

4. 参加機関

佐賀県、佐賀県内全市町、佐賀県警察本部、唐津市消防本部、伊万里・有田消防本部、長崎県、福岡県、内閣官房、内閣府、国家公安委員会、警察庁、消費者庁、総務省、消防庁、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、気象庁、海上保安庁、環境省、原子力規制委員会、防衛省、九州管区警察局（佐賀県情報通信部）、原子力規制庁（併）内閣府（玄海原子力規制事務所）、陸上自衛隊（西部方面総監部、西部方面通信群、西部方面航空隊、第四師団司令部、第四特科連隊、第四特殊武器防護隊）、海上自衛隊（佐世保地方総監部）、航空自衛隊（西部航空方面隊司令部）、自衛隊佐賀地方協力本部、国土交通省九州運輸局、国土交通省九州地方整備局、国土交通省福岡管区气象台、国土交通省佐賀地方气象台、第七管区海上保安本部、唐津海上保安部、公益社団法人佐賀県隊友会、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、日本赤十字社佐賀県支部、唐津赤十字病院、佐賀県医療センター好生館、佐賀大学医学部附属病院、国立大学法人長崎大学、一般社団法人佐賀県医師会、一般社団法人唐津東松浦医師会、一般社団法人伊万里・有田地区医師会、一般社団法人佐賀県放射線技師会、佐賀県老人福祉施設協議会、一般社団法人佐賀県介護老人保健施設協会、一般社団法人佐賀県精神科病院協会、一般社団法人佐賀県聴覚障害者協会、佐賀県手話の会連絡協議会、佐賀県聴覚障害者サポートセンター、佐賀県難病相談支援センター、国立病院機構肥前精神医療センター、佐賀整肢学園からつ医療福祉セ

ンター、佐賀整肢学園こども発達医療センター、医療法人松籟会、医療法人社団中多久病院、佐賀県防災士会、佐賀県水難救済会、一般社団法人佐賀県バス・タクシー協会、公益法人佐賀県トラック協会、佐賀県旅客船協会、佐賀県ケーブルテレビ協議会、特別養護老人ホーム玄海園、特別養護老人ホーム宝寿荘、社会福祉法人天寿荘、特別養護老人ホーム清水園、介護老人保健施設楽寿園、特別養護老人ホームめずら荘、特別養護老人ホーム作礼荘、特別養護老人ホーム栄荘、特別養護老人ホーム浜玉荘、特別養護老人ホーム岬荘、特別養護老人ホーム敬愛園、特別養護老人ホーム長生園、特別養護老人ホーム伊万里向陽園、特別養護老人ホーム寿光園、特別養護老人ホーム延寿荘、特別養護老人ホーム潮荘、特別養護老人ホームグランパランいまり、特別養護老人ホームみなと園、軽費老人ホーム作礼荘、軽費老人ホーム寿楽荘、軽費老人ホームいまり、特別養護老人ホーム寿楽園、特別養護老人ホーム福寿園、特別養護老人ホーム春庵、特別養護老人ホームロザリオの園、特別養護老人ホームシルバーケア三瀬、特別養護老人ホーム扇寿荘、特別養護老人ホーム南鷗荘、特別養護老人ホーム野菊の里、特別養護老人ホーム真心の園、特別養護老人ホームすみれ園、特別養護老人ホーム歌垣之園、特別養護老人ホームくにみ、特別養護老人ホームそよかぜの杜、特別養護老人ホームそれいゆホームズ、特別養護老人ホームりんでんホームズ、特別養護老人ホームシルバーケア吉野ヶ里、養護老人ホーム松尾山大成園、養護老人ホーム佐賀向陽園、経費老人ホームケアハウス大地、経費老人ホーム洞庵荘、ケアハウスコスモスの園、ケアハウスあおぞら、ケアハウスみふね、ケアハウスるんびに園、特別養護老人ホーム杏花苑、特別養護老人ホーム御船荘、特別養護老人ホーム好日の園、特別養護老人ホームひいらぎ、特別養護老人ホームなごみ荘、特別養護老人ホームケアポート晴寿、株式会社NTTフィールドテクノ九州支店、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、ドコモCS九州佐賀支店、西日本高速道路株式会社九州支社、FMからつ、伊万里ケーブルテレビジョン株式会社、九州電力株式会社 その他関係機関（順不同）

5. 訓練想定

九州電力株式会社玄海原子力発電所4号機において、定格熱出力一定運転中、佐賀県北部において地震が発生した。その後、原子炉冷却材漏えいが発生したため、緊急負荷降下後、原子炉を手動停止した。

原子炉停止後、非常用炉心冷却装置が作動したが、設備故障等により同装置による注水が不能となり、全面緊急事態となる。

さらに、事態が進展し炉心損傷に至り、放射性物質が放出され、その影響が発電所周辺地域に及ぶ。

6. 訓練項目及び内容

(1) 災害対策本部等設置運営訓練

参加機関：佐賀県、玄海町、唐津市、伊万里市 他

事態の推移に応じ県及び関係市町は、災害警戒本部・災害対策本部を設置の上、本部会議やTV会議を開催し、本部内や関係機関と情報共有を図る。

オフサイトセンター（OFC）に機能班要員を派遣する。

(2) 緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練

参加機関：国、佐賀県、玄海町、唐津市、伊万里市、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、長崎県、福岡県、長崎県・福岡県関係市町、九州電力株式会社 他

OFCに、国、県、各市町、各関係機関からあらかじめ定められた要員が参集し、体制を構築して、事故の状況や関係機関の対応状況を把握し、各種防護対策措置の検討等を実施する。

(3) 緊急時通報連絡・情報伝達訓練

参加機関：国、佐賀県、県内全市町、陸上自衛隊、海上保安庁、九州電力株式会社、他

事故等に関する緊急時の情報を国、県、市町、原子力事業者、防災関係機関等の関係機関相互の通報連絡及び收受等

テレビ会議システムを活用した国、関係市町、福岡県、長崎県との情報伝達訓練

・内容：国からの指示伝達・関係自治体からの避難状況報告など
各種情報（モニタリング結果、スクリーニング結果、被ばく医療の状況、
気象情報等）を関係機関、報道機関へ情報提供

防護対策を防災業務関係者等へ連絡

国、佐賀県 玄海町・唐津市・伊万里市 市町内関係機関、学校、福祉施設等

避難指示等について、報道機関へ報道要請

(4) ヘリテレ伝送システム等による情報収集訓練

参加機関：陸上自衛隊、唐津海上保安部、九州地方整備局、佐賀県

自衛隊ヘリ及び唐津海上保安部船艇による偵察及び危機管理センターへの映像伝送

(5) 緊急時モニタリング訓練

参加機関：国、佐賀県、県内各市町、九州電力株式会社、長崎県、福岡県
他

国の統括のもと、O F C 内に緊急時モニタリングセンター（E M C）を設置し、国、県、関係市町、原子力事業者、関係指定公共機関と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング活動を行う。

佐賀県緊急モニタリング本部の設置運営

モニタリング要員の招集

固定型モニタリングの監視の強化、移動式モニタリングの実施

可搬型モニタリングポストによる測定

簡易型電子線量計による測定

環境試料（飲料水・土壌）の採取・測定

モニタリングデータの伝達、集計、確認

モニタリング要員の防護対策、汚染検査の実施

緊急時モニタリング実施計画、指示書の受領

緊急時モニタリングセンターへ報告

国、長崎県、福岡県とのモニタリング情報共有システムによるモニタリング結果の共有

(6) 住民避難、屋内退避訓練

参加機関：玄海町・唐津市・伊万里市の住民、佐賀県、玄海町、唐津市、伊万里市、玄海みらい学園、ふたば園、あおば園、特別養護老人ホーム玄海園、特別養護老人ホーム宝寿荘、特別養護老人ホーム天寿荘、特別養護老人ホーム清水園、高齢者生活福祉センターひぜん荘、高齢者生活福祉センターちんぜい荘、からつ医療福祉センター・久里双水園、医療福祉センター・アルトン、佐賀整肢学園こども発達医療センター、医療法人松籟会、医療法人社団中多久病院、陸上自衛隊、唐津海上保安部、佐賀県警察本部、玄海町消防団、唐津市消防団、伊万里市消防団、佐賀県旅客船協会、佐賀県水難救済会、公益社団法人佐賀県隊友会
他

住民避難訓練（一般住民、在宅の避難行動要支援者、離島）

- ・市町長からの指示に基づく、玄海原子力発電所のP A Zの避難及びU P Z内特定地域の玄海町、唐津市、伊万里市の住民の屋内退避及び避難
- ・福岡県を經由する避難
- ・学校における児童生徒の保護者への引渡し及び避難
- ・保育所における児童の避難
- ・佐賀県バス・タクシー協会との協定に基づく車両による避難
- ・地震発生及び渋滞により、予定している避難ルートが通行困難となった状況を想定した、避難経路を変更する避難

避難行動要支援者の避難訓練

- ・在宅の避難行動要支援者の避難
- ・九州電力と協力した在宅の避難行動要支援者の放射線防護対策施設及び避難先施設への搬送
- ・施設が策定した避難計画に基づく福祉施設の入所者を対象とした避難
- ・福祉施設の避難に係る中継ポイントの設置・運営
- ・佐賀県隊友会との協定に基づく福祉車両運転手の確保訓練

学校等における屋内退避訓練

- ・30キロ圏内の保育所、学校、福祉施設、医療機関等による屋内退避
- ・地震発生により、UPZ内で地震により自宅が損壊し、自宅での屋内退避が困難となった状況を想定した、近隣避難所への屋内退避
- ・放射線防護機能の付加工事を実施した施設における屋内退避
(特別養護老人ホーム玄海園、特別養護老人ホーム潮荘、高齢者生活福祉センターひぜん荘、高齢者生活福祉センターちんぜい荘、高島公民館、高島屋内退避施設、神集島公民館、旧神集島小学校、小川小中学校、唐津市呼子交流促進施設、加唐小学校松島分校、馬渡小中学校、馬渡島屋内退避施設、入野小学校向島分校)

離島避難訓練(加唐島)

- ・佐賀県旅客船協会との協定に基づく船舶等による離島住民の避難
- ・海上保安庁船舶による離島住民の避難
- ・水難救済会船舶による離島住民の避難
- ・自衛隊ヘリによる離島住民の避難

(7) 避難所設置・運営訓練

参加機関：佐賀県、玄海町、唐津市、伊万里市、武雄市、小城市、江北町、みやき町、佐賀県防災士会、協定締結企業 他

覚書に基づく避難所の設置・運営訓練

市町からの避難行動要支援者を含めた避難住民の受入

災害対策本部等からの情報伝達・広報

避難所映像を危機管理センターへの送信

「災害時における物資の調達に関する協定」に基づく物資の調達

避難所において災害用伝言ダイヤル(171)の開設

避難所における避難所運営ゲーム(HUG)の実施

NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの移動基地局車の配備

原子力防災講習等

(8) 原子力災害医療対策訓練

参加機関：佐賀県、玄海町、唐津市、伊万里市、佐賀県放射線技師会、長崎大学、日本赤十字社佐賀県支部、唐津赤十字病院、佐賀県医療センター好生館、佐賀県医師会、唐津東松浦医師会、伊万里・有田地区医師会、九州電力株式会社、唐津市消防本部、伊万里・有田消防本部、陸上自衛隊、日本原子力研究開発機構 他

避難退域時検査訓練

- ・放射線技師会等からの要員の受入、検査体制の構築
- ・ゲート型モニタによる避難車両の汚染検査
- ・GMサーベイメータによる避難車両の汚染検査、住民等の表面汚染検査及び携行物品の検査
- ・自衛隊による車両及び住民に対する汚染検査及び簡易除染

被ばく傷病者等受入訓練

- ・傷病者及び被ばくした住民の原子力災害拠点病院への搬送
- ・原子力災害拠点病院における処置

情報伝達訓練（E M I S）

- ・緊急医療本部から関係機関への情報提供を行う。

避難指示が出された住民に対する安定ヨウ素剤の配布訓練

- ・緊急配布場所における安定ヨウ素剤の緊急配布
- ・離島住民への安定ヨウ素剤の配布

(9) 交通規制・警戒警備訓練

参加機関：佐賀県警察本部、鳥栖警察署、小城警察署、唐津警察署、伊万里警察署、武雄警察署、白石警察署、唐津海上保安部

主要交差点における交通規制、避難車両の誘導

（代替経路における交通規制、避難車両の誘導）

複合災害及び交通規制等の阻害要因による避難経路変更への対応

管轄外警察署等からの応援出動

玄海原子力発電所付近の交通規制等の要員の安全確保（防護服、ポケット線量計等の着用）

管轄警察署による避難所警戒

海上保安庁による船舶への防護対策区域の周知・立入規制

P A Z 内境界付近での立ち入り規制訓練

(10) 物資等搬送訓練

参加機関：佐賀県、玄海町、唐津市、陸上自衛隊、佐賀県トラック協会
他

避難所への生活必需品、備蓄食料の輸送

屋内退避を実施する福祉施設への自衛隊による食糧・水・医療品等の物資
輸送訓練

離島への自衛隊による医師の派遣及び医薬品の搬送訓練

(11) 住民等に対する広報訓練

参加機関：佐賀県、玄海町、唐津市、伊万里市、唐津海上保安部 他
地域住民等への広報（緊急速報メール（エリアメール）、防災行政無線、
広報車、船舶、FMラジオ、CATV、電話、ホームページ等）

(12) 原子力発電所における緊急時対策訓練

参加機関：九州電力株式会社

対策本部運営訓練

通報連絡訓練

警備・避難誘導訓練

事故収束訓練

緊急時モニタリング実施訓練（発電所内）

7. 訓練の中止

災害が発生又は発生のおそれがある場合は訓練を中止する。